

- 1 日時 平成26年 5月16日(金) 第5校時
- 2 学年・学級 第3学年A組 34名 (男子18名 女子16名)  
少人数指導17名
- 3 指導形態・場所 少人数・英語1教室
- 4 単元名 Program 1 How Does Your School Chime Sound? (開隆堂)

## 5 単元設定の理由

### (1) 単元観

本単元では、多くの学校でなじみのチャイムが、実は英国のビッグベンの鐘の音であることが紹介されている。英国文化と自分たちの学校生活とが繋がっていることから異文化交流の一例に気づかせることができる。イギリス人のホール先生からそのことを教えてもらった由紀が、インターネットでその歴史を調べ、それをスピーチで発表する準備をするという設定である。

本単元で主に扱う言語材料は、過去形の受動態と「完了」の用法の現在完了形である。どちらも一般動詞の過去分詞を用いて表す。1学年次からの既習事項を振り返り、be動詞の変化とともに、主語や時制による動詞の形の変化について整理することができる。また、現在完了形については、既習の現在形、過去形、未来形に加え、これを知識として定着させることで、身近な生活について、その状況を的確に表現できるようになる。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、全体的に真面目に学習に取り組むが、学力差が大きく、1学年次には授業に参加することができていなかった生徒もいる。前年度までは習熟度により2つのクラスに分けていたが、今年度は協同的な学習を進めるため、生徒数を機械的に2分割して指導している。

本少人数クラスの、4月に実施した習熟度テストの平均点は60.8点であった。50点以下の生徒は約4割いた。リスニングの問いは平均通過率が82.9%であり、それらの生徒も高得点を得ていた。通過率が最も低いのは英作文の問いで、27.4%であった。誤答の多くは文構造の誤りで、特に動詞の欠落によるものがほとんどであった。また無解答は3名いた。

### (3) 指導観

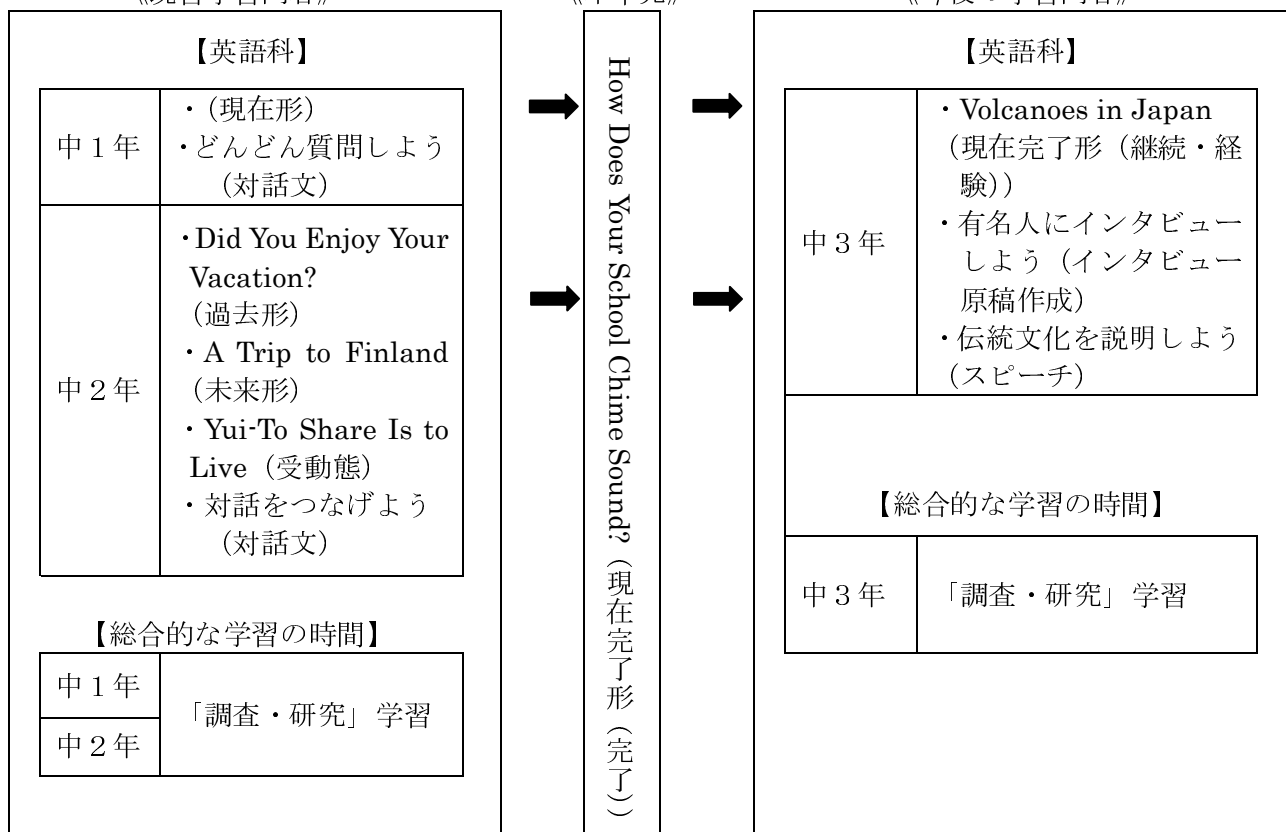
本単元を指導するにあたり、次の3点に重点を置き指導したい。

一点目は、新出事項とともに既習事項を繰り返し指導し、基礎的・基本的な事項を確実に定着させたい。主語によるbe動詞の変化や時制による動詞の変化等は、英語に対する苦手意識の原因の1つとなっている。何度も声に出して言わせることを基本とし、ジェスチャーやカードを用いて視覚的に理解を助けたり、短時間でできる問題を解かせたりして、習得を図りたい。

二点目は、ペアやグループ活動を行い、お互いの考えの良さを認め合い、自分の考えと比較することで学習を深めていけるよう指導したい。習得に関わる活動については、各自の進歩を喜び、活用に関わる活動については、共に考えを練り合ったことを評価し合うよう指導したい。このような言語活動を通して、英語を通じてのコミュニケーション能力はもちろん、人間関係形成能力を高めたい。

三点目は、新出事項である現在完了形を用いたスキットを作って発表するという活動を通して、既習事項を活用する場面を設定する。教科書から発展させ、生徒にとってより現実味のある言語活動を行わせる。会話の流れを考えさせたり、聞く人に分かりやすく工夫して表現させたりすることで、思考力、表現力を高めたい。

(4) 本単元学習内容と英語科の他の単元、並びに総合的な学習の時間学習内容の関連  
 《既習学習内容》 《本単元》 《今後の学習内容》



## 6 単元(題材)の目標

- (1) 現在完了形(完了の用法)を用いたスキットを作り、その内容が伝わるように演じる。  
(外国語表現の能力)
- (2) 現在完了形(完了の用法)の肯定文、否定文、疑問文とその応答の意味・文構造・用法を理解する。  
(言語や文化についての知識・理解)
- (3) 現在完了形(完了の用法)を用いた対話文の内容を理解する。(外国語理解の能力)
- (4) 間違ふことを恐れず、積極的にスキットを演じる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

## 7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①間違ふことを恐れず、積極的にスキットを演じている。	①本文の内容が伝わるように音読できる。 ②現在完了形(完了の用法)を用いてスキットを書くことができる。 ③現在完了形(完了の用法)を用いたスキットを、その内容が伝わるように演じることができる。	①対話文を聞き、要点や対切な部分を聞き取ることができる。	①受動態の文構造について理解している。 ②現在完了形(完了の用法)の肯定文、否定文、疑問文とその応答の意味・文構造・用法を理解している。

## 8 単元計画 (全8時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法	習得・活用
		関	表	理	知	評価規準		
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項の復習をする。</li> <li>○単元の学習の見通しをもつ。</li> <li>・単元終了時に、教科書をモデルとしてスキットを発表するというめあてをもつ。</li> <li>○受動態の文構造を復習する。</li> <li>・be 動詞、一般動詞の変化表を声に出して練習する。</li> <li>・主語, 時制による変化について練習する。(1)</li> </ul>				○	エ①	ワークシート	習得
二	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項の復習をする。</li> <li>○現在完了形(完了の用法)の肯定文の意味・文構造・用法について理解する。</li> <li>・モデルスキットを聞いて、話の要点を理解する。</li> <li>・現在完了形について、様々な動詞、主語を用いてパターンプラクティスを行う。</li> <li>・ワークシートで問題練習を行う。(1)</li> </ul>			○		ウ① エ②	生徒の反応 ワークシート	習得
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項の復習をする。</li> <li>○現在完了形(完了の用法)の否定文、疑問文とその応答の意味・文構造・用法について理解する。</li> <li>・モデルスキットを聞いて、話の概要を理解する。</li> <li>・疑問文とその応答について会話練習を行う。</li> <li>・ワークシートで問題練習を行う。(1)</li> </ul>			○		ウ① エ①	生徒の反応 ワークシート	習得
四	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項の復習をする。</li> <li>○Section 1の本文の内容を理解し、音読する。</li> <li>・日本と海外とのつながりについて気づきを出し合う。</li> <li>・新出語句を練習する。</li> <li>・Section 1の対話文を聞き、要点をノートにメモする。</li> <li>・意味を確認し、内容が伝わるように工夫して音読する。(1)</li> </ul>			○		ウ① イ①	ノート 音読	習得・活用
五	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項の復習をする。</li> <li>○Section 2の本文の内容を理解し、音読する。</li> <li>・興味や疑問がある場合、どのような方法で調べるか出し合う。</li> <li>・新出語句を練習する。</li> <li>・Section 2の対話文を聞き、要点をノートにメモする。</li> <li>・意味を確認し、内容が伝わるように工夫して音読する。(1)</li> </ul>			○		ウ① イ①	ノート 音読	習得・活用

六	<p>○既習事項の復習をする。</p> <p>○Section 3 の本文の内容を理解し、音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調査・研究」学習のまとめの活動はどのようなものがあるか出し合う。</li> <li>・新出語句を練習する。</li> <li>・Section 3 の対話文を聞き、要点をノートにメモする。</li> </ul> <p>・意味を確認し、内容が伝わるように工夫して音読する。(1)</p>					ウ①	ノート	習得・活用
		◎				ア①	音読	
七	<p>○グループで協力して、現在完了形（完了の用法）を用いたスキットを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルスキットを見てイメージをつかむ。</li> <li>・グループで独自の場面設定を考える。</li> <li>・ユーモアのある楽しいスキットになるようにアイデアを出し合う。</li> <li>・グループで協力して、スキットの英文をワークシートに書く。(1)</li> </ul>					イ②	ワークシート	活用
		◎				イ③	活動の様子	活用
八	<p>○グループで協力して、現在完了形（完了の用法）を用いたスキットを演じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルスキットを見てイメージをつかむ。</li> <li>・前時に書いたスキットを見直し、修正する。</li> <li>・聞く人に内容が伝わるように工夫して音読練習する。</li> <li>・見る人に内容が伝わるように工夫して発表する。</li> <li>・他のグループの発表を見て、自分のグループの発表を振り返る。(本時1)</li> </ul>	◎				イ③	活動の様子	活用
		◎				ア①	活動の様子	

## 9 PISA型読解力との関連

PISA型読解力の過程	場面	指導のポイント
情報の取り出し	モデルスキットを見る場面	意図的に分かりにくいスキットを演じて見せることで、どのように演じるべきか気づくよう促す。「見る人に分かりやすくスキット発表をするためには、どうすればいいだろう。」を問う。
解 釈	スキットを見直し、音読練習する場面	自分のグループのスキットをモデルスキットと比較させ、練り直すよう促す。「分かりやすいスキット発表にするための改善点は何だろう。」を問う。
熟考・評価	スキットを発表し合う場面	自分たちのグループの発表について振り返りを促す。「良かった点、反省点は何か。」「他グループ発表の良かった点は何か。」を問う。

## 10 本時の展開

### (1) 本時の目標

現在完了形（完了の用法）を用いたスキットを、見る人に分かりやすく演じる。

### (2) 観点別評価規準

◎ジェスチャーや、声の調子、速さなどを工夫してスキットを演じている。(イ③)

○間違えることを恐れず、積極的にスキットを演じている。(ア①)

### (3) 準備物

○スキットワークシート

	学習内容	思考を促す発問, 声かけ(○) 予想される生徒の反応(☆) 「C」と判断される生徒への手立て(★)	PISA型 読解力のため の手立て	留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 あいさつをする。 2 本時の目標を確認する。				
	本時の目標 現在完了形 (完了の用法) を用いたスキットを, 見る人に分かりやすく演じることができる。				
展開	3 現在完了形について復習する。 4 モデルスキットを見る。 5 スキットを見直す。 6 スキット発表の練習をする。 7 スキットを発表する。	○現在完了形の形と意味を確認しよう。  ○見る人に分かりやすくスキット発表するためには, どうすればいいだろう。 ☆分かりやすい語句を使う。正しく発音する。 ☆はっきりと発音する。話す速さや間の取り方などを工夫する。 ☆ジェスチャーをする。表情を作る。  ○分かりやすいスキット発表するための改善点はなんだろう。 ☆1文付け加えて分かりやすくする。 ☆強弱をつけて読む。 ☆テンポよく続くように練習する。 ★机間指導を行い, 自信のない部分は, 繰り返しついでに言わせて練習させる。 ★グループの中でお互いにアドバイスし合わせる。	<b>【情報の取り出し】</b> 分かりにくいスキットを演じて見せることで, 自分たちはどのように演じべきかを考えさせる。  <b>【解釈】</b> 自分のグループのスキットを練り直させる。	・指導者の言う英文を聞き取って書かせる。 ・本時のゴールの姿を意識させる。 ・分かりやすいスキット発表の要素をポイントとしてメモさせる。  ・内容を伝えることが最も重要であることをおさえる。	
まとめ	8 振り返りを書く。 9 あいさつをする。	○良かった点, 反省点は何だろう。 ○他グループ発表の良かった点は何だろう。 ☆文が短くて分かりやすかった。 ☆はっきりとよく聞こえた。 ☆速すぎて聞き取れなかった。 ☆気持ちが入ってなかった。  ○わかりやすく演じるために, どのようなことを工夫しただろうか。 グループで考えを出し合って工夫することができただろうか。	<b>【熟考・評価】</b> 自分たちの発表の振り返りをさせる。	・気づきをメモさせながら聞かせる。	<b>【イ③】</b> 活動の様子 <b>【ア①】</b> 活動の様子